

会社説明会



サイオステクノロジー株式会社

(東証マザーズ : 3744)

2012年3月22日

1. サイオスについて

【No. 2～ 11】 当社の事業領域や強み、経年実績などのご紹介

2. 2011年12月期決算概要

【No. 12 ～ 23】 前期の決算概況のご説明

3. 中期事業戦略と2012年12月期業績予想

【No. 24 ～ 29】 中期的な事業戦略と今期の方針等のご説明

1. サイオスについて

2. 2011年12月期決算概要

3. 中期事業戦略と2012年12月期業績予想

Software for Innovative Open Solutions

サイオステクノロジーは、1997年の創業以来、**オープンソースソフトウェア(OSS)**を軸に、WebアプリケーションやOS(基本ソフトウェア)、ITシステムの開発/基盤構築/運用サポート等の事業を展開し、現在はこれらに**クラウド**技術を加え、新たな価値創造とそこをご提供に取り組んでおります。

これからもテクノロジー集団として、**革新的なソフトウェア技術を追求し、世界のIT産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」となって価値を創造・提供することで、社会の発展に貢献してまいります。**

(2011年12月31日現在)

本社:東京都港区虎ノ門4-1-28

設立:1997年5月23日

連結子会社:

SIOS Technology Corp.(米)、賽欧思(北京)科技(中)、グルージェント(日)、SIIS(日)

資本金:1,481百万円

社員数*:連結216名、単体147名

*社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

オープンソース技術 と クラウド活用 による 最適システムの実現

Open
Source
Software

Cloud
Computing

1. 自由度の高いシステム開発と運用
2. サービスインまでのスピード向上
3. 次世代アーキテクチャーへの対応

オープンシステム基盤事業

事業継続ソリューション

「LifeKeeper」
「DataKeeper」

オープンソースソリューション

「Red Hat Enterprise Linux」
「JBoss Enterprise Middleware」
「Postgres Plus」

セキュリティソリューション

「i-FILTER」
「m-FILTER」

OSS関連サービス

OSSワンストップソリューション

Webアプリケーション事業

クラウドソリューション

「SIOS Integration for Google Apps」
「Gluegent Gate」
「Gluegent Apps」

SIOS Applications

MFP関連ソリューション

オープンソース導入の具体的メリット

ITコストの大幅な削減

メリット1

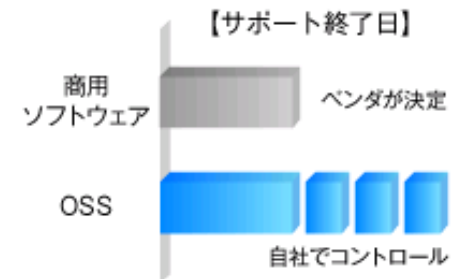
例えばOSSを導入することにより、ライセンス料が無料となり、ITにかかるコストを大幅に削減することができます。



システムライフサイクルの長期化

メリット2

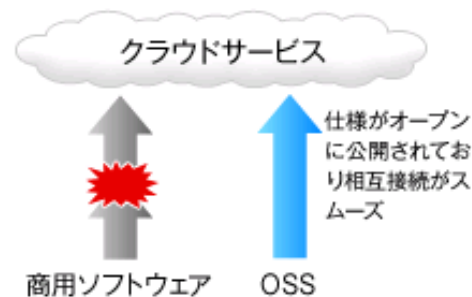
OSSは、商用ソフトウェアとは異なり、ベンダ・ロックインを回避できるため、自社でシステムライフサイクルをコントロールすることができます。



クラウドサービスとの連携

メリット3

クラウドサービスを構成するのは大半がOSSです。その為、社内システムをクラウドに持っていくこと、またクラウドサービスと連携することは容易です。



世界標準の最新技術をキャッチアップ

メリット4

OSSは、世界中の企業、そしてコミュニティに参加する開発者が日々最先端の技術で開発をし公開しています。



ドトールコーヒー様事例

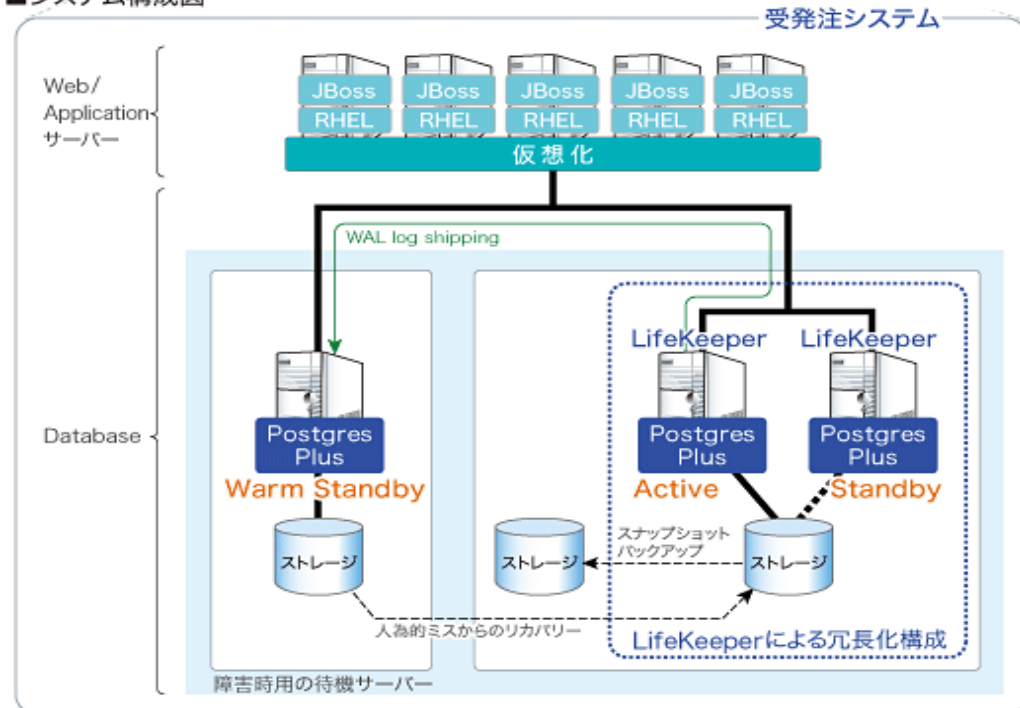
受発注システムのリニューアル
 システムの長期運用とクラウド移行を視野に入れ
 OSS基盤 + LifeKeeperでシステム構築

製品ライフサイクル統合

OSS活用 コスト削減

クラウド基盤への移行

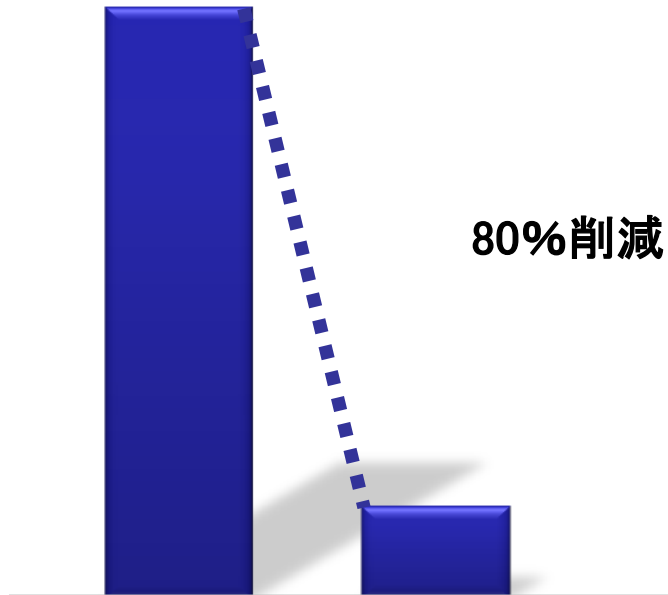
■システム構成図



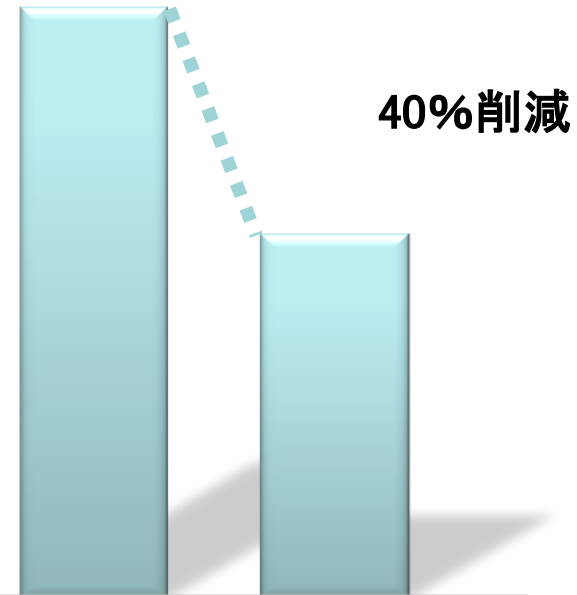
ドトールコーヒー様事例

導入コスト80%減、ランニングコスト40%減を実現

導入コスト

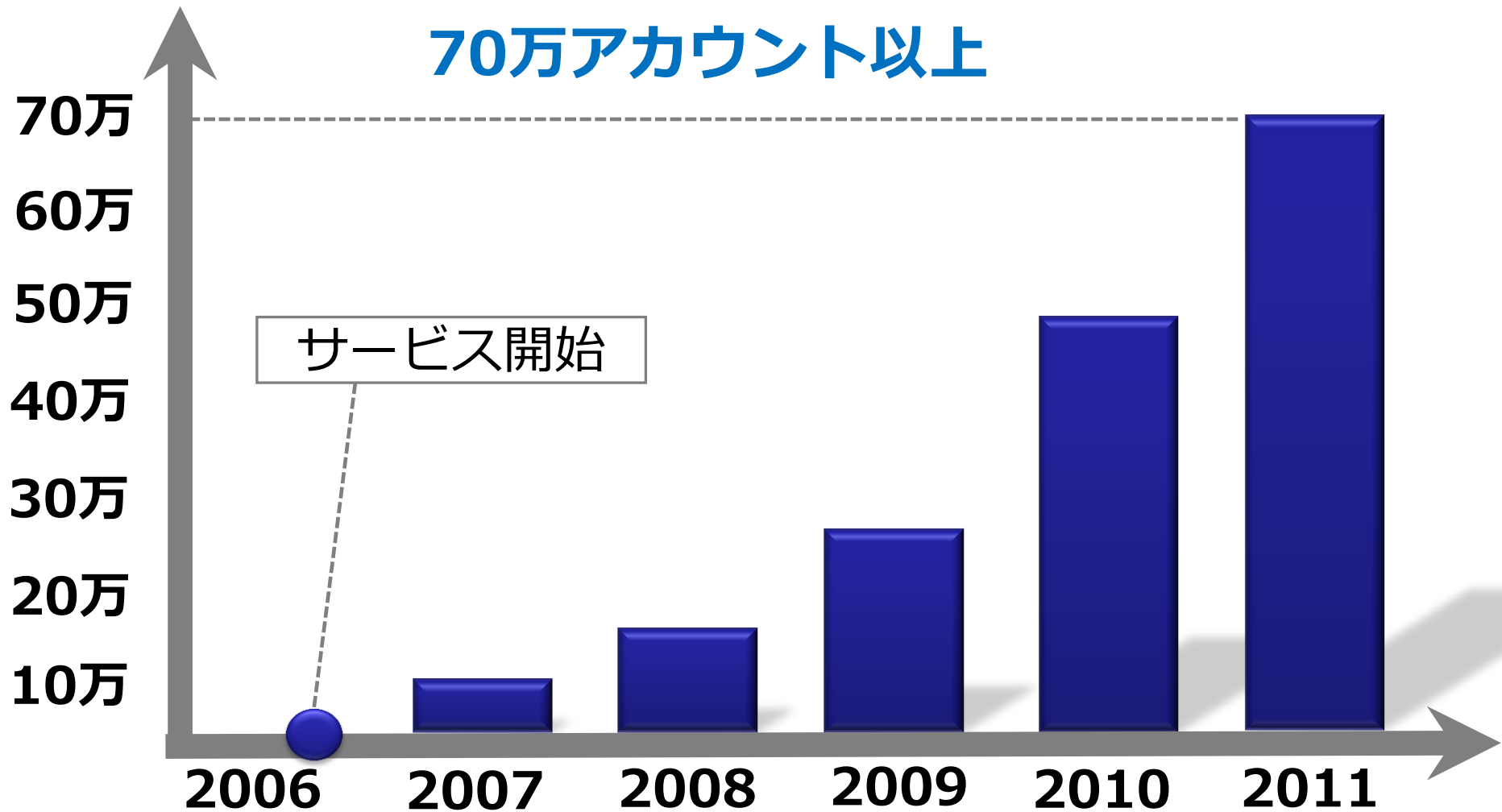


ランニングコスト



Google Apps 導入実績 (大学+民間企業)

70万アカウント以上



日経BP社「第3回 クラウドランキング」 2011.9.27

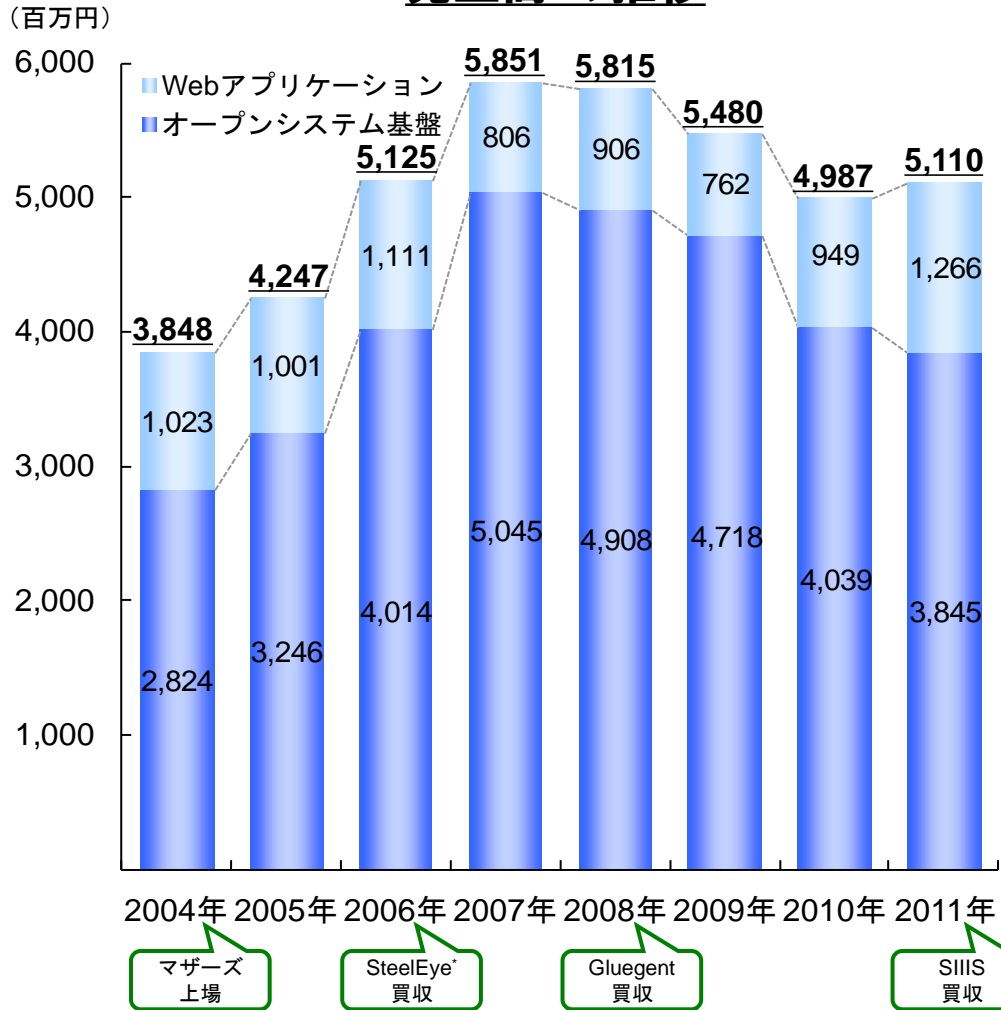
サイオスの“Google Apps 導入・移行支援サービス”が、
パブリッククラウド導入支援サービス部門 の **ベストサービス**
 に選定。



<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110915/368746/>

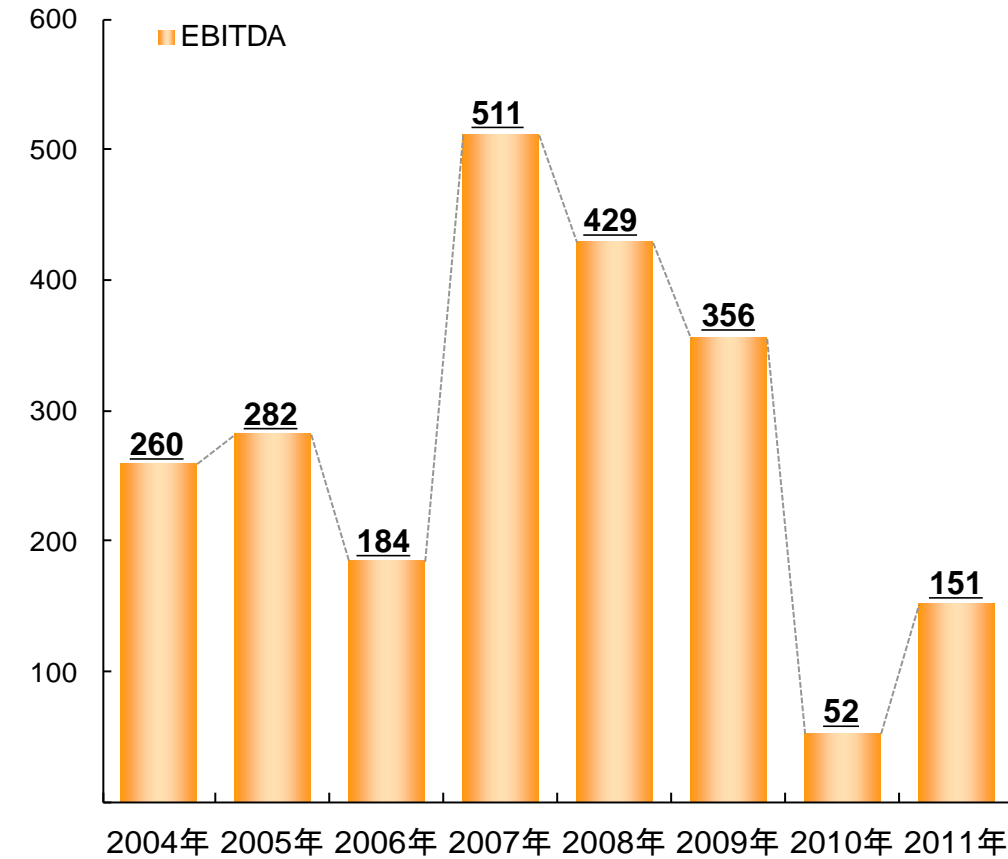
経年実績(連結)

売上高*の推移



EBITDAの推移

(百万円) EBITDA = (営業利益+減価償却費+のれん償却額)



*2010年10月1日をもって米国子会社「SteelEye Technology, Inc.」は「SIOS Technology Corp.」に商号を変更

*売上高合計には、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた外部顧客に対する金額を記載

1. サイオスについて

2. 2011年12月期決算概要

3. 中期事業戦略と2012年12月期業績予想

2011年12月期 決算概要

売上高 5,110百万円 (前年同期比 2.5%増)

ほぼ予想通り

- ▶ 「[LifeKeeper](#)」は、大規模案件の減少等により減収だが、第3四半期以降、徐々に増収基調に回帰
- ▶ 「[Red Hat Enterprise Linux](#)」*は、新規受注金額は堅調に推移したが、旧製品が減収
- ▶ 「[SIOS Integration for Google Apps](#)」、[MFP関連ソリューション](#)等は順調に収益貢献

営業利益 △155百万円 (前年同期は △283百万円)
EBITDA 151百万円 (前年同期比 188.9%増)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

予想を上回る

- ▶ 受託開発における不採算案件が、第2四半期までのコスト増加要因となるが、徹底したコスト削減を継続し、営業損失幅縮小に寄与
- ▶ 投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落しその回復が困難であると認められたものについて、減損処理による投資有価証券評価損46百万円を特別損失として計上

2011年12月期 業績(連結)

	10年12月期	11年12月期	増減率	業績予想	(百万円)
	実績	実績		(11.1.31 公表)	差異
売上高	4,987	5,110	+2.5%	5,100	+0.2%
オープンシステム基盤事業	4,039	3,845	△4.8%	-	-
Webアプリケーション事業	949	1,266	+33.3%	-	-
セグメント間調整	△ 2	△ 1	-	-	-
売上原価	2,860	3,121	+9.1%	-	-
売上総利益	2,127	1,989	△ 6.5%	-	-
販管費	2,410	2,144	△ 11.0%	-	-
(内のれん償却額)	252	232	△7.7%	-	-
営業利益	△ 283	△ 155	-	△ 250	-
経常利益	△ 286	△ 161	-	△ 250	-
当期純利益	△ 312	△ 247	-	△ 270	-
EBITDA	52	151	+188.9%	-	-
(連結社員数)	(211名)	(216名)	(+ 5名)		

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

※特別損失計上による影響額

投資有価証券評価損

46百万円

2011年12月 業績(個別)

	(百万円)			(百万円)			(千ドル)		
	サイオス単体			米SIOS Corp単体(¥ベース)			米SIOS Corp単体(\$ベース)		
	10年12月期 実績	11年12月期 実績	増減	10年12月期 実績	11年12月期 実績	増減	10年12月期 実績	11年12月期 実績	増減
売上高	4,649	4,541	△2.3%	722	643	△10.9%	8,230	8,070	△1.9%
(システム基盤)	3,748	3,553	△5.2%	722	643	△10.9%	8,230	8,070	△1.9%
(Webアプリ)	900	987	+9.7%	-	-	-	-	-	-
売上原価	3,176	3,178	+0.0%	151	148	△2.4%	△ 444	△ 797	
売上総利益	1,472	1,362	△7.5%	570	495	△13.1%	6,499	6,211	△4.4%
販管費	1,415	1,303	△7.9%	937	681	△27.3%	10,683	8,546	△20.0%
(内のれん償却)	-	-	-	247	228	△7.8%	2,819	2,859	+1.4%
営業利益	56	59	+3.8%	△ 367	△ 186	-	△ 4,184	△ 2,334	-
経常利益	55	61	+10.1%	△ 364	△ 185	-			
当期純利益	22	△ 1,090	-	△ 342	△ 186	-			
(社員数)	(153名)	(147名)	(△ 6名)	(38名)	(36名)	(△ 2名)			

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

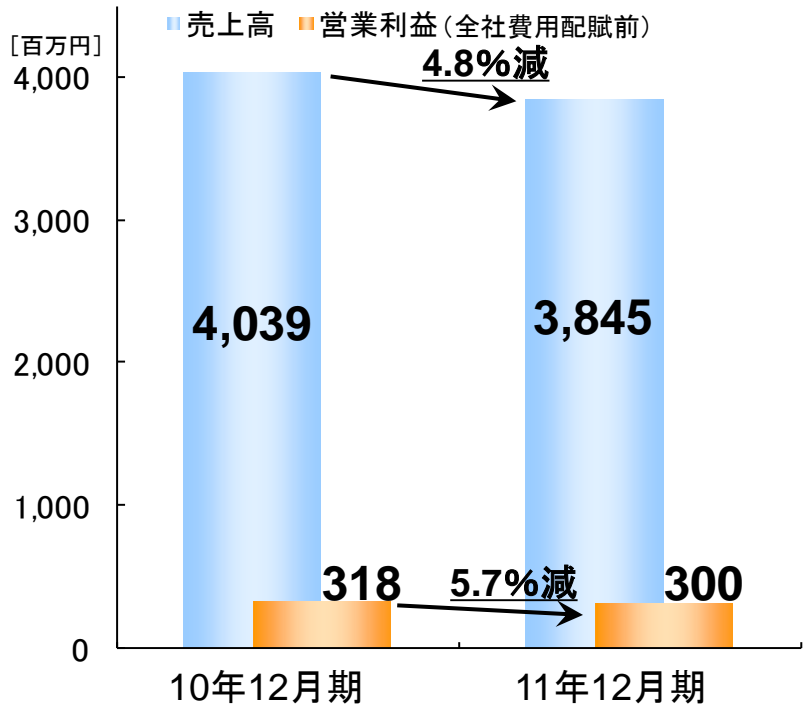
換算レート: 1\$ = 87.78円 79.78円

※特別損失計上による影響額

投資有価証券評価損	46百万円
関係会社株式評価損	1,029百万円
関係会社投資損失引当金繰入額	39百万円
計	1,116百万円

オープンシステム基盤事業について

売上高	3,845百万円	(前年同期比	4.8%減)
営業利益 (全社費用配賦前)	300百万円	(前年同期比	5.7%減)
営業利益 (全社費用配賦後)	12百万円	(前年同期は	△29百万円)



売上高

[国内]

- ・「LifeKeeper」は、大規模案件の減少等により減収だが、第3四半期以降、徐々に増収基調に回帰
- ・「Red Hat Enterprise Linux」は、新規受注金額は堅調に推移したが、旧製品・サービスが減収

[海外]

- ・米州、欧州で苦戦したものの、その他地域(アジア・オセアニア)では徐々に伸長

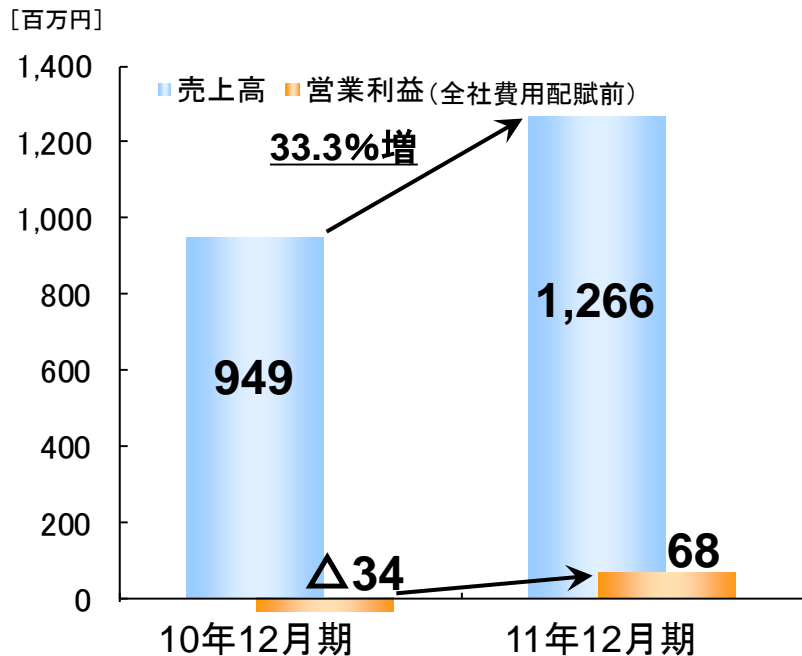
営業利益 (全社費用配賦前)

- ・上記の要因により、利益が減少

※オープンシステム基盤事業における全社費用(一般管理部門にかかる費用)は、前年同期が348百万円、当期が288百万円

Webアプリケーション事業について

売上高	1,266百万円	(前年同期比	33.3%増)
営業利益 <small>(全社費用配賦前)</small>	68百万円	(前年同期は	△34百万円)
営業利益 <small>(全社費用配賦後)</small>	△167百万円	(前年同期は	△253百万円)



売上高

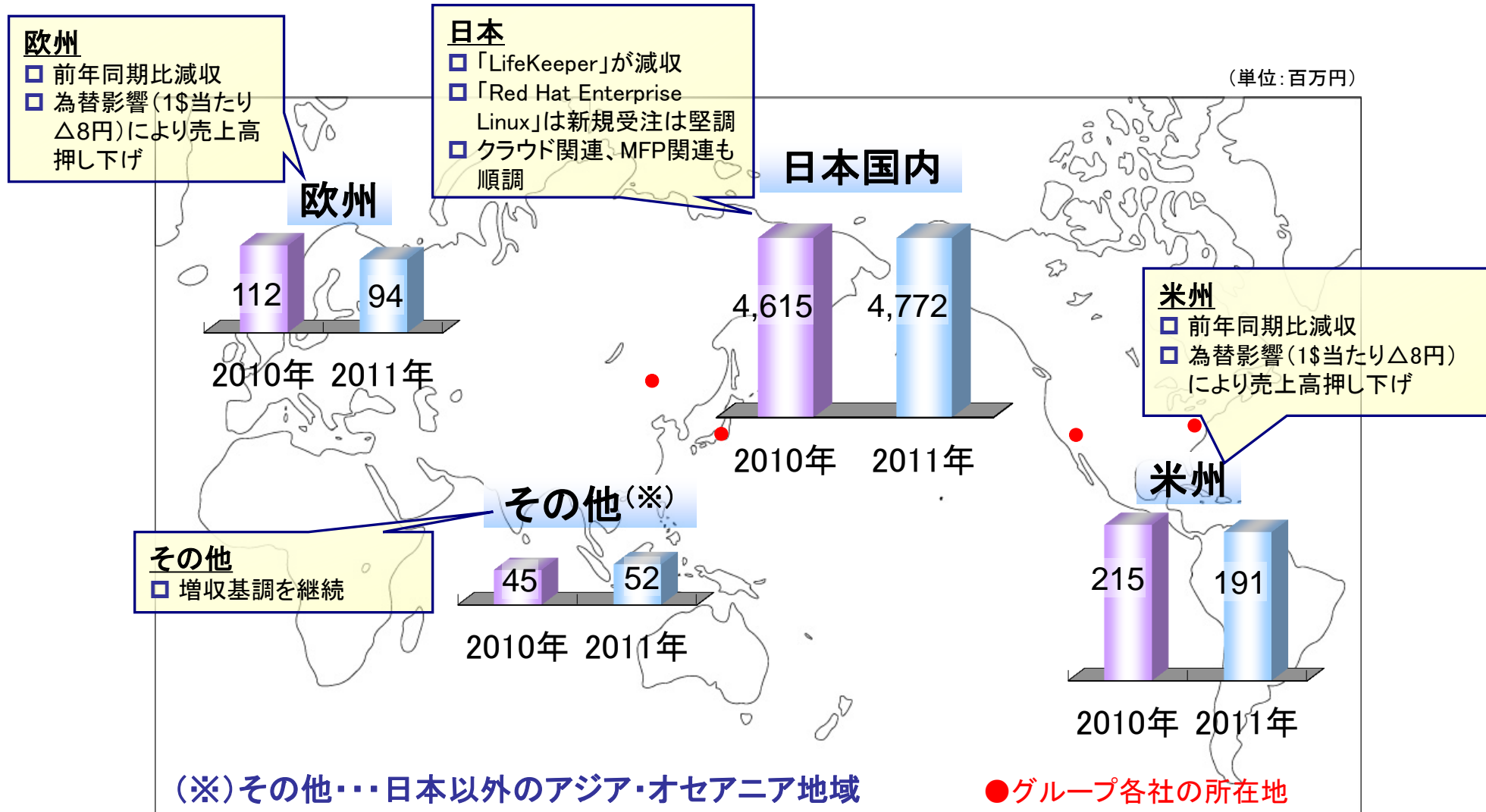
- ・「SIOS Integration for Google Apps」を始めとするクラウドコンピューティング関連の製品・サービスは増収
- ・ Google Apps導入は70万ユーザーを突破 (2011年12月末時点・・・大学／民間含む)
- ・ MFP関連ソリューションも順調

営業利益 (全社費用配賦前)

- ・ 受託開発における不採算案件に伴うコスト増加が利益を押し下げるが、セグメント全体では黒字化

※Webアプリケーション事業における全社費用(一般管理部門にかかる費用)は、前年同期が218百万円、当期が236百万円

地域別売上高の状況



2011年12月期 貸借対照表

	連結			増減	
	10年12月期 期末実績	11年12月期 期末実績			
流動資産合計	2,437	2,321	△ 116		前渡金△126 など
固定資産合計	795	454	△ 341		のれん△241、 投資有価証券△46など
（のれん）	362	121	△ 242		
資産合計	3,232	2,775	△ 457		
流動負債合計	1,418	1,219	△ 199		前受金△84、 買掛金△44など
（1年内返済長期借入金）	125	2	△ 123		
固定負債合計	96	109	+13		
（長期借入金）	0	7	+8		
負債合計	1,515	1,328	△ 186		
純資産合計	1,717	1,447	△ 271		利益剰余金の減少△270 など
（為替換算調整勘定）	△ 374	△ 397	△ 22		
負債純資産合計	3,232	2,775	△ 457		

2011年12月期 キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	連結		増減	
	10年12月期 実績	11年12月期 実績		
営業活動によるキャッシュ・フロー	48	239	+191	税引前当期純損失 Δ206 減価償却 +59 のれん償却 +232 前渡金の減少 +126 仕入債務増加 +44 未払金の減少 Δ17 前受金の減少 Δ74 など
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ 60	Δ 22	+38	
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ 275	Δ 142	+133	固定資産取得 Δ25 など
現金及び現金同等物に係る換算差額	Δ 60	Δ 19	+41	借入金返済 Δ125 など
現金及び現金同等物の増減額	Δ 349	55	-	
現金及び現金同等物の期首残高	1,474	1,125	-	
現金及び現金同等物の期末残高	1,125	1,180	-	

クラウド

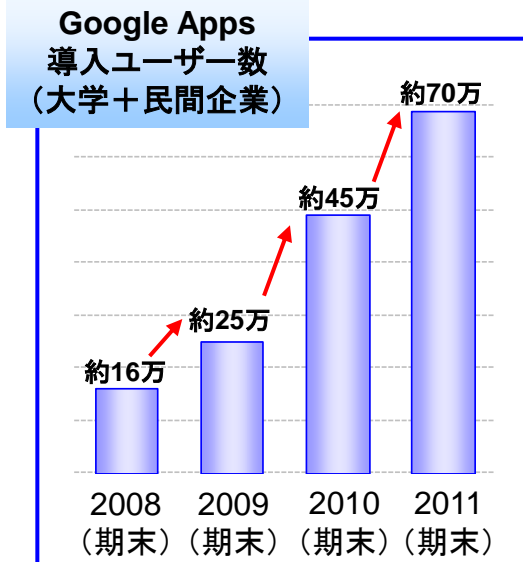
- ▶ 「SIOS Integration for Google Apps」の提供拡大と周辺分野でのサービス展開
- ▶ クラウド型のインテグレーションに転換

⇒ Google Apps導入は**70万ユーザー**を突破

⇒ Google Appsの機能拡張サービス

「Gluegent™」シリーズの提供を開始

- ✓ セキュリティソリューション「Gluegent Gate」や、グループスケジューラー、共有アドレス帳等をリリース

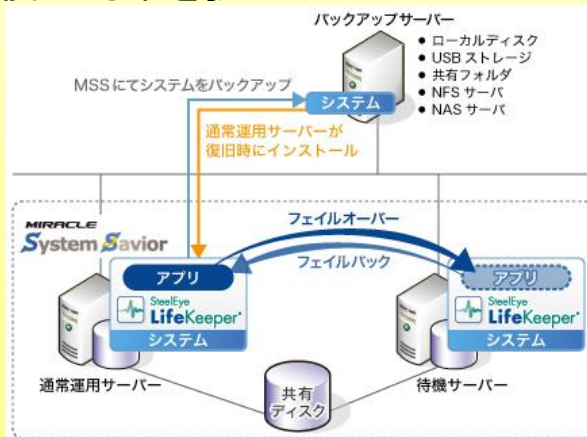


OSS

- 「LifeKeeper」の更なる拡販
- OSSワンストップソリューションの展開を継続
 - ⇒ 他社との協業や導入事例が着実に増加
 - ✓ 日本IBMとの協業で、災害時に自社のITシステムからクラウド上のバックアップ・システムに切り替えるサービスを提供開始
 - ✓ 「DataKeeper for Windows」と、日本クエスト・ソフトウェアのデータ保護ソリューション「NetVault Backup」との組み合わせにより、企業の災害復旧対策として、企業のデータを遠隔地にバックアップするソリューションを提供開始
 - ✓ 「LifeKeeper」と、ミラクル・リナックスの「MIRACLE System Savior」の組み合わせにより、障害時のサービス継続の確率を高め、システム復旧時の作業が削減できるソリューションを提供開始

➤ 2011年10月、ミラクル・リナックスとシステムバックアップソリューションで協業

- ✓ サイオスの「LifeKeeper」で構成されたシステムを、同社のシステムバックアップソフトウェア「MIRACLE System Savior」でバックアップするソリューション。
- ✓ クラスタ環境のシステムバックアップを簡易にし、災害時などのITシステムの復旧対策を強力にサポート



➤ 2012年1月、連結子会社SIISが関心空間からの事業譲受に合意

- ✓ 2月1日付で関心空間のWebサイト開発等の事業、及びクチコミサイト「関心空間」、知財等を譲り受け
- ✓ SIISの既存ソリューションとの融合により新たなソーシャルサービスの展開を図る



1. サイオスについて

2. 2011年12月期決算概要

3. 中期事業戦略と2012年12月期業績予想

中期目標数値について

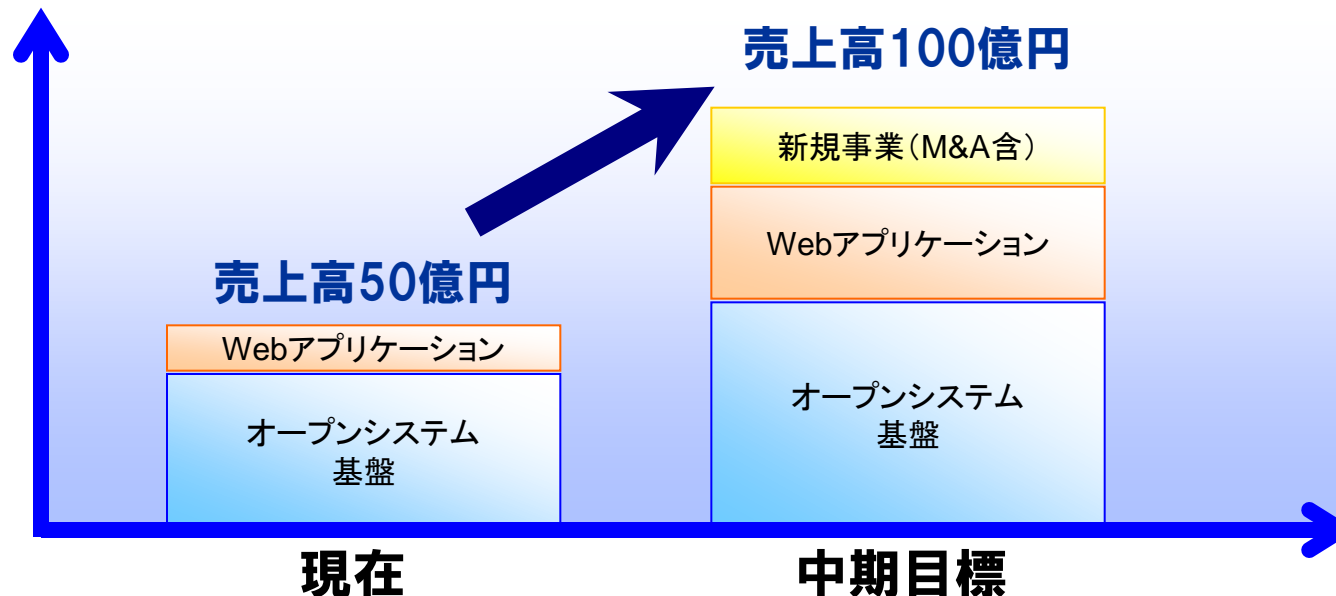
中期目標数値は据え置き（2009年2月2日公表ベース）

当社グループは、中期的に

売上高100億円、EBITDA15億円を目指します。

（EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

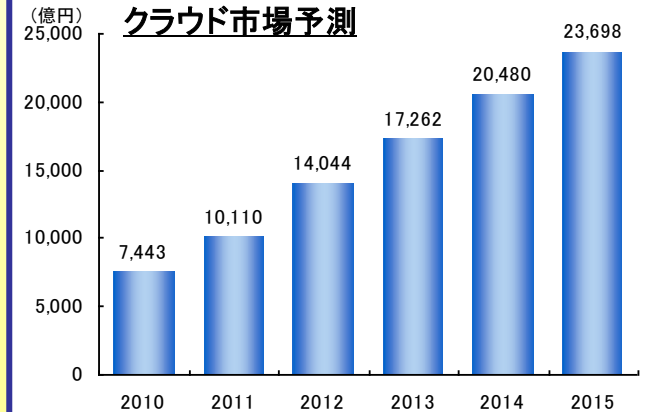
なお、実現目標時期については、世界経済状況や当社を取り巻く事業環境、中期事業戦略の進捗状況に応じて公表します。



「クラウド」と「OSS」への注力

長期的展望

- 企業のIT戦略において、クラウドコンピューティングやソーシャル・メディアの活用が必要不可欠となり、それらと親和性の高いOSSの活用も進む
- ライセンス提供型、労働集約型ビジネスからサービス提供型ビジネスへの移行が進む



出典: 2010年情報通信白書(総務省)



クラウドとOSSの分野を中心とした事業構造転換を継続

- 「LifeKeeper」や「Red Hat Enterprise Linux」に続くビジネスとして、クラウド関連やMFP関連のビジネスが伸長中
- グループ各社の強みを一層強化し、クラウドやソーシャルの領域における新たなビジネス創出への取り組みも加速

米国子会社にて新サービスとして推進してきた「CloudStation(仮称)」については、早期の収益貢献の見通しが立たないため、関連する業務を停止。当該サービスに投入してきた経営資源は、既存事業のほか、新たなビジネス創出や、グループ各社での連携の推進に配分

オープンシステム基盤事業

▶「LifeKeeper」の拡販

- 製品機能の強化、販売パートナーとの関係強化
- 新たな商機獲得に向け、協業や市場開拓を推進

▶「Red Hat Enterprise Linux」を始めとするOSS関連のビジネスにおける競争優位性の確立

- 営業・技術・マーケティングの機能強化により、顧客満足度の向上を図る

Webアプリケーション事業

▶クラウド関連の製品・サービスの提供拡大

- Google Appsの機能拡張サービス「Gluegent™」シリーズの展開による収益力強化

▶MFP関連ソリューションの提供拡大

- 継続的な機能強化と、販売活動の強化

▶スマートフォンやSNSを始めとする新たな展開

- 2011年6月に連結子会社化した株式会社SIISを中心に推進

売上伸長、営業損益黒字化

(百万円)

	連結			
	11年12月期 実績	12年12月期 業績予想	増減額	増減率
売上高	5,110	5,300	+189	+3.7%
オープンシステム基盤事業	3,845	3,890	+45	+1.2%
Webアプリケーション事業	1,266	1,410	+144	+11.4%
セグメント間調整	△ 1	0	+1	-
売上原価	3,121	3,060	△61	△2.0%
売上総利益	1,989	2,240	+251	+12.6%
販管費	2,144	2,220	+75	+3.5%
(内のれん償却額)	232	120	△113	△48.4%
営業利益	△ 155	20	+175	-
経常利益	△ 161	20	+182	-
当期純利益	△ 247	△ 20	+228	-
EBITDA	151	200	+49	+32.3%

オープンシステム基盤事業

- 「LifeKeeper」の拡販
- 「Red Hat Enterprise Linux」は提供内容変更による影響が残るが、現行の製品は堅調に推移

Webアプリケーション事業

- クラウド関連、MFP関連の製品・サービスの提供拡大
- 受託開発、子会社等による押し上げ

売上原価・販売費及び一般管理費

- のれん償却額は、ほぼ半減
- 営業・技術・マーケティングの強化に係るコストの増加を見込んでいるが、コスト管理の徹底により、合計では微増

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー（IR担当）

03-6860-5105（代表）

Webによる場合はこちらからお問い合わせください → https://www.sios.com/ir/form-IR_ssl.html



SIOS